山形県西川町　デジタル田園都市国家構想交付金・新しい地方経済・生活環境創生交付金・地域未来交付金　実施状況及び効果検証

（単位：円）

【事業名：新しい観光コンテンツ創出によるサスティナブルツーリズム事業】

所管課	タイプ名	事業期間	事業(実施計画書)		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費	交付金充当額	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
商工観光課	地方創生推進タイプ	令和5年度	事業初動期として、ファン層の獲得に向けたメタバースを整備し、オンライン会を立ち上げるとともに、仙台や国内関係団体やDMOとコンテンツ制作の確立や、情報発信とインフラの充実に向けたモデルを作り上げる。また、事業推進のための「西川サスティナブルツーリズム協議会」を設立し、アドバイザーの助言をもとに地元観光協会と協働でファン層開拓・維持に向けた戦略を策定する。 合わせて、新たな観光コンテンツを実施しながら、ターゲットを明確にし、的確に対応するためのマーケティングに着手するほか、室内備蓄デジタルサイネージ化などが計画的な受入環境の充実に向けた整備を実施する。	**【デジタル活用などによるファン獲得】** ① メタバース導入・オンライン会設立 メタバースによるバーチャル環境を構築するとともに、国内外ファン層の開拓・維持に向けたオンライン会の立上げと定期開催の運営を図ります。 ② 仙台圏向けプロモーション 友好提携関係にある高畑街や団体が主催する物産市又は店舗での定期的な特産物出店及び飲食物提供の機会を捉えて、ファン層開に向けた観光所等の情報発信プロモーションを実施する。 ③ インバウンド向けプロモーションとインフルエンサー招聘 連携協定を締結する台湾輔仁大学を中心とし、台湾からのインバウンド集客に向けた多言語対応の観光所等の情報発信プロモーションを展開する。また、2024年度に友好協会に加盟したタイとどアジア圏域からのインバウンドに向け、有名アーティストなど集客力を持つインフルエンサーを招聘した発信手段を検討する。 ④ 情報収の制作・掲載 観光協会と連携し、町の詳細な観光情報を掲載する独自の情報誌を制作するとともに、仙台圏域に広く配置される地域の魅力発信等チャンの情報を掲載する。 ⑤ アドバイザー招聘による戦略策定 山形県の観光アドバイザーを的確な専門人材を招聘し、ファン層の開拓・維持に向けた戦略を策定するとともに、旅行者のニーズやターゲットを絞り込んだマーケティングを推進する。また、戦略策定にあたっては、本町の観光業振興の核となる観光協会の機能強化が不可欠であるため、アドバイザーとともに策定作業を図りながら、実のある戦略を作り上げていく。 【持続可能な観光コンテンツ充実】 ① ONSENアストロノーズの開催 本町の最大な自然景観の中で、白装束に身を包み、山岳信仰の文化を感じながら地元の美食を堪能するウォーキングイベントを実施する。（春と秋の2回開催） ② 地元食材「月山和牛」の活用 町内で使用する「月山和牛」のブランド確立と観光コンテンツと連動した食食メニューや宿泊プラン提供などによる誘客・消費拡大キャンペーンを立ち上げる。 【オール西川での受入体制整備】 ① 案内誘導看板の設置 協議会を主体に、デジタルサイネージ化による案内誘導の検討を図り、公的施設等への設置を行う。	西川サスティナブルツーリズム協議会	①国内外のコアなファン層数	人	200.00	1,497.00	52,286,000	26,137,000	令和5年4月	令和6年3月	事業立ち上げ段階として、関係団体や企業との連携のもと、人材の育成に応じた体験型コンテンツの創出、情報発信の取組が進み、観光振興に向けた基盤整備が図られた。特にファン層の獲得やボランティア参加の拡大には、地域内外からの関与が広がり、事業推進に必要な的・関係性の土台が形成されたと評価できる。今後の本格的な展開に向けた初動として、著実な成果が見られた。
						②国内観光ボランティア数	人	20.00	308.00					
						③持続可能なコンテンツ創出数	件	2.00	2.00					
						④メタバースを活用したオンライン会参加者数	人	80.00	100.00					

所管課	タイプ名	事業期間	事業(実施計画書)		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費	交付金充当額	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	地方創生推進タイプ	令和6年度	メタバース活用に係る効果検証とが重要ポイントの理解を図るとともに、戦略にもとづくマーケティング施策とも連動させながら、次年度以降の運用とファン層の開拓・維持に向けた方向性を確等する。また、自然や歴史、文化など本町が地域資源もより明確になることから、ターゲットを絞様のより新たな観光コンテンツを実施する。合わせて、観光業の低い手が不足していることへの対策として、ツーリズムを活用した町内ボランティア（ガイド）の人材育成など受入体制の整備に着手する。	【デジタル活用などによるファン層獲得】 ① メタバース運用と増築・オンライン会機能 メタバースを運用し、機能の検証と地域機能拡充の増築を図りながら、オンライン会を定着化する。 ② 仙台圏向けプロモーション 仙台圏でのプロモーションを軌道にのせる。 ③ インバウンド向けプロモーション 台湾やタイでのプロモーションを軌道にのせるとともに、アウトバウンドも視野に入れ、観光協会が主体となる団体・個人旅行への対応を拡充する。 ④ 情報誌の制作・掲載 情報誌の効果を検証し、内容検討を図るとともに、仙台圏情報誌への情報発信を継続する。 ⑤ アドバイザー招聘による戦略策定 マーケティング調査結果の収集や関係者による意見集約により、策定したファン層の開拓・維持に向けた戦略の2年目における見直しを行い、ブラッシュアップを図る。 【持続可能な観光コンテンツ充実】 ① ONSENアストロノーズの継続と新ツーリズムの開催 ONSENアストロノーズのほか、山菜・きのこ収穫やレジャーカヌー、組すきやつる組工などの伝統工芸や「かくれ豪雪日本一」と称される雪資源を体験できるような新たなツーリズムを企画・実施し、観光客への選択肢や魅力を向上する。 ② 地元食材「月山和牛」の活用 プランド食材「月山和牛」と観光コンテンツ運動の誘客・消費拡大キャンペーンを継続しながら、効果の検証を図る。 ③ 大自然でとどのうサウナイベントの開催と移動式サウナレンタルの実証 3年目は、サウナレンタルキヴナル事業を開始し、認知度アップを図りながら検証を続ける。 【オール西川での受入体制整備】 ① 町民ボランティア（ガイド）の育成 新たなツーリズムへの協力をベースに町民ボランティアの数を増やしながら、専門的見地を持つ旅行会社等と連携し、将来の観光ガイドとなり得る人材育成手順を立ち上げる。 ② 案内誘導看板の設置 本町の主要観光地の入口である月山志津温泉や観光関点施設に、ブランディングに沿った観光コンテンツ誘導のためのデジタルサイネージ化を含む看板を整備する。	西川サスティナブルツーリズム協議会	①国内外のコアなファン層数	人	200.00	247.00	60,924,394	30,462,196	令和6年4月	令和7年3月	各取組の運用が定着し、ファン層の拡大やボランティアの参画が継続的に進むなど、事業効果の広がりが確認された。体験型コンテンツの開発や関係者間の連携も進展し、観光の再構築に向けた具体的な施策が着実に展開されている。これにより、地域資源を活かした観光の魅力向上と受入体制の強化が図られ、事業目的に沿った成果が着実に積み重なっている。
						②町内観光ボランティア数	人	20.00	40.00					
						③持続可能なコンテンツ創出数	件	2.00	2.00					
						④メタバースを活用したオンライン会参加者数	人	80.00	16.00					

所管課	タイプ名	事業期間	事業(実施計画書)		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費	交付金充当額	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	第2世代交付金	令和7年度	中間事業として、西川サスティナブルツーリズム協議会において、3年目までの観光資源・実施を分析し、その結果や実施状況等を踏まえて、ファン層獲加に沿う仙台圏や国外へのプロモーションの効力について検討を進める。また、観光協会が主体となってアウトバウンドへの取組みを開始し、要事などを検討する。合わせて、アドバイザー招聘については、観戦見直し・改訂を軌道に乗せるとって、ターゲットに合わせた臨年度のマーケティング分析・効果検証に業務を少外していく。	【デジタル活用などによるファン層獲得】 ① メタバース運用と増築・オンライン会拡充 メタバースを運用し、機能の検証と機能拡充の増築を図りながら、オンライン会の参加拡大を推進する。 ② 仙台圏向けプロモーション 仙台圏でのプロモーションの効果を検証し、プロモーションの機会を拡充する。 ③ インアウトバウンド向けプロモーション 台湾やタイでのプロモーションの2年の効果を検証するとともに、観光協会によるアウトバウンドモデルツアーの企画・造成を図り、実証を図っていく。 ④ 情報誌の制作・掲載 情報誌の2ヶ年発行の効果を検証し、内容の拡充を図るとともに、仙台圏情報誌への情報発信の定着化を図る。 【持続可能な観光コンテンツ充実】 ① ONSENアストロノーズの継続と新ツーリズムの開催 ONSENアストロノーズのほか、山菜・きのこ収穫やレジャーカヌー、組すきやつる組工などの伝統工芸や「かくれ豪雪日本一」と称される雪資源を体験できるような新たなツーリズムを企画・実施し、観光客への選択肢や魅力の向上に向けた創出事業を継続する。 ② 地元食材「月山和牛」の活用 プランド食材「月山和牛」と観光コンテンツ運動の誘客・消費拡大キャンペーンを継続しながら、効果の検証を図り、4年目以降の制度拡充等を検討する。 ③ 交流サウナイベントの開催と移動式サウナレンタルの実証 3年目も、西川町内10か所で大自然でとどのうサウナイベントの開催し、町内と町外の交流をはかりつつ認知度アップを図りながら検証を続ける。 【オール西川での受入体制整備】 ① アドバイザー招聘によるマーケティングの定期実施 観光客等入れに係るターゲットの変動に対応するための定期的なマーケティング調査を実施するとともに、アドバイザーと観光協会が協働し、戦略の4年目におけるブラッシュアップも継続する。 ② 町民ボランティア（ガイド）育成 新年度以降する新たなツーリズムにより蓄積する町民ボランティア向けのレベルアップガイド研修を実施し、起業者等の創出につなげる。 ③ 案内誘導看板の設置 仙台方面からの本町の入口に、観光コンテンツへの誘客を図るための差替式看板（多言語化を含む。）を整備する。	西川サスティナブルツーリズム協議会	①国内外のコアなファン層数	人	200.00	567.00	62,510,000	27,942,998	令和7年4月	令和8年3月	ファン層の拡大やボランティアの定着、コンテンツの充実が大きく進展し、観光振興における人的基盤と地域経済への波及効果が顕在化している。地域内外の多様な主体の関与が広がり、持続可能な観光地域づくりに向けた体制が実効性を伴って機能していると評価できる。3年間の取組により、観光を軸とした地域活性化の方向性が明確となり、今後の発展につながる基盤が整った。
						②町内観光ボランティア数	人	20.00	88.00					
						③持続可能なコンテンツ創出数	件	2.00	4.00					
						④メタバースを活用したオンライン会参加者数	人	80.00	0.00					

所管課	タイプ名	事業期間	事業(実施計画書)		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費 ※予定	交付金充当額 ※予定	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	第2世代交付金	令和8年度	西川サスティナブルツーリズム協議会において、3年目までのデジタル活用などによるファン層獲得・維持の事業展開の総括検を実施し、最終年度に向けた検討を4、拡充を進めるインバ・アウトバンドやニ次交通などの運営盤の切り育成により、町内での観光総合収益効果への貢献策などについても分析し、その結果を踏まえてステップアップを図っていく。	【デジタル活用などによるファン層獲得】 ① 観光防災マップの開発・運用 メタバースを活用したオンライン会などで西川ファンを獲得し、来町につながっている。その西川ファンが少しに西川町の観光コンテンツを認知し、複数回の来訪につながるよう、また有事の際に自ら安全を確保できるよう観光防災マップの利用拡大を推進する。 ② 仙台圏向けプロモーション 仙台圏でのプロモーションの効果を検証し、プロモーションの機会をさらに拡充する。 ③ インアウトバウンド向けプロモーション 台湾やタイでのプロモーションの3ヶ年の効果を検証するとともに、観光協会によるアウトバウンドツアーの企画・造成を図り、実証を図っていく。 ④ 情報誌の制作・掲載 情報誌の4ヶ年発行の効果を検証し、内容の拡充を図るとともに、仙台圏や国外向け情報誌への情報発信を検討する。 【持続可能な観光コンテンツ充実】 ① ONSENアストロノーズの継続と新ツーリズムの開催 ONSENアストロノーズのほか、山菜・きのこ収穫やレジャーカヌー、組すきやつる組工などの伝統工芸や「かくれ豪雪日本一」と称される雪資源を体験できるような新たなツーリズムを企画・実施し、観光客への選択肢や魅力の向上に向けた創出事業を継続する。 ② 地元食材「月山和牛」の活用 プランド食材「月山和牛」と観光コンテンツ運動の誘客・消費拡大キャンペーンを継続しながら、取扱宿泊施設・飲食店の経済効果を測定するなど効果の検証を図り、課題を検討する。 【オール西川での受入体制整備】 ① アドバイザー招聘によるマーケティングの継続実施 マーケティング調査の実施を定着化させ、時代にあったニーズを常に探ることで持続可能な観光振興を図るとともに、戦略の4年目におけるブラッシュアップも継続する。 ② 案内誘導看板の設置 多言語化に対応したデジタルサイネージ化を含む案内誘導看板を、町内立寄りポイントに整備する。	西川サスティナブルツーリズム協議会	①国内外のコアなファン層数	人	200.00		60,843,000	30,421,000	令和8年4月	令和9年3月	
						②町内観光ボランティア数	人	20.00						
						③持続可能なコンテンツ創出数	件	2.00						
						④メタバースを活用したオンライン会参加者数	人	80.00						

所管課	タイプ名	事業期間	事業(実施計画書)		実施主体	重要業績評価指標(KPI)				交付対象事業費 ※予定	交付金充当額 ※予定	事業開始年月	事業完了年月	効果検証結果 （KPI達成状況に応じた今後の対応等）
			概要	実施内容		項目	単位	目標値	実績値					
観光課	地域未来推進型	令和9年度	本事業によるデジタル活用観光の進展やファン層の獲得拡大を図に、観光事業者のみならず、町民の福祉向上などを地域が抱える課題解決のための手段として関係人口を最大化し、町独自の調査報決スタンダードを作り上げ、「西川サスティナブルツーリズム協議会」の自走に向けた動きを加速化するとともに、ひいては持続可能な稼ぐ力のある観光地域づくりを確実なものにする。	【デジタル活用などによるファン層獲得】 ① 観光防災マップの開発・運用 メタバースを活用したオンライン会などで西川ファンを獲得し、来町につながっている。その西川ファンが少しに西川町の観光コンテンツを認知し、複数回の来訪につながるよう、また有事の際に自ら安全を確保できるよう観光防災マップの利用拡大を推進する。 ② 仙台圏向けプロモーション 仙台圏でのプロモーションの効果を検証し、プロモーションの定着化を図る。 ③ インアウトバウンド向けプロモーション 台湾・欧米圏でのプロモーションの4ヶ年の効果を検証するとともに、観光協会によるアウトバウンドツアーの企画・造成とともに起因した町内での雇用の場を確立する。 ④ 情報誌の制作・掲載 情報誌の4ヶ年発行の効果を検証し、内容の拡充を図るとともに、仙台圏や国外向け情報誌への情報発信を定着する。 【持続可能な観光コンテンツ充実】 ① ONSENアストロノーズの継続と新ツーリズムの開催 ONSENアストロノーズを継続するほか、実施してきた新たなツーリズムの徹底的な効果検証を行い、本町にあったサスティナブル観光事業の為り方を確立する。 ② 地元食材「月山和牛」の活用 プランド食材「月山和牛」と観光コンテンツ運動の誘客・消費拡大キャンペーンを継続しながら、イベントにとどまらずとも地元食材が定着する仕組みの基盤を構築する。 【オール西川での受入体制整備】 ① アドバイザー招聘によるマーケティングの継続実施 マーケティング調査の実施を定着化させ、時代にあったニーズを常に探ることで持続可能な観光振興を図るとともに、戦略の5年目以降におけるブラッシュアップも継続する。 ② 案内誘導看板の設置 複数の多言語化に対応した差替用の案内誘導表示を整備し、充実を図る。	西川サスティナブルツーリズム協議会	①国内外のコアなファン層数	人	200.00		60,843,000	30,421,000	令和9年4月	令和10年3月	
						②町内観光ボランティア数	人	20.00						
						③持続可能なコンテンツ創出数	件	2.00						
						④メタバースを活用したオンライン会参加者数	人	80.00						